

1. 件名「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 JRR-3 原子炉施設に係る新規制基準への適合性確認に関する事業者ヒアリング（194）」
2. 日時：令和2年4月15日（水）10時00分～12時00分
3. 場所：
 - (1) 原子力規制庁9階南会議室
 - (2) 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所※本ヒアリングは、テレビ会議にて実施
4. 出席者
 - (1) 原子力規制庁
原子力規制部 新基準適合性審査チーム
上野管理官補佐、加藤安全審査官、山田係員
 - (2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
研究炉加速器技術部 JRR-3 管理課 担当者 他3名
5. 要旨
 - (1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）原子力科学研究所の原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）の変更に係る設計及び工事の方法の認可（以下「設工認」という。）申請（その1）、設工認申請（その12）及び設工認申請（制御棒案内管の製作）に関し、可搬型機器の仕様の記載方針等について、資料R3-194-1、資料R3-194-2及び資料R3-194-3に基づき説明があった。
 - (2) 上記（1）の説明に対し、原子力規制庁から主に以下の事項について確認を行い、原子力機構から了解した旨回答があった。
 - 設工認申請（その12）のフレキシブルホースの既設配管への接続部に関して、フレキシブルホースを接続することによる既存設備への影響について審査会合で説明する必要があること。
 - 設工認申請（その12）の電ドラムについては、機器仕様や使い方等を審査会合にて説明する必要があること。
6. 配付資料
 - (1) 原子力機構からの配付資料
 - ・ 資料R3-194-1 設工認（その12）に係る仕様の見直しについて
 - ・ 資料R3-194-2 設工認（その1）に係る可搬型の機器について
 - ・ 資料R3-194-3 設工認（制御棒案内管の製作）の審査スケジュール見直しについて